

【地域と協同の研究センター】

「第 19 回通常総会」と「総会記念シンポジウム」開催のご案内

地域と協同の研究センターでは下記の通り「第 19 回通常総会」を開催します。
また、午後からは「生協の（未来の）あり方研究会」の二次共著「協同による社会デザイン（2019 年 4 月 25 日発刊）をもとに、「協同による社会デザイン」は現代社会と時代の変容をどのようにとらえているか、新しい生協像（事業や活動のあり方）にどのような問題提起をしているのか、東海の生協の今をどのように考えているのか、執筆者からの報告をうけて話し合います。

記

- 一、ご案内 地域と協同の研究センター第 19 回通常総会
- 一、日 時 2019 年 5 月 25 日（土）10：30～12：15
- 一、会 場 生活協同組合コープあいち生協生活文化会館 4 階（名古屋市千種区稲舟通 1-39）
- 一、お知らせ

当日の午後は同会場にて総会記念シンポジウムを開催します。シンポジウムは一般の方にもご参加いただけます。お知り合いの方などお誘いいただき、ご参加ください。

第 19 回通常総会「総会記念シンポジウム」

テーマ「新しい生協像への視座」

－新著「協同による社会デザイン」が問いかける

- 日 時 5 月 25 日（土）13：15～15：30
- 会 場 コープあいち生協生活文化会館 4 階会議室
- 参加費 無料

詳しくは別紙第 19 回通常総会「総会記念シンポジウム」開催のご案内をご覧ください。

<お申込み>

地域と協同の研究センター（事務局）

phone :052-781-8280 fax:052-781-8315 e-mail AEL03416@nifty.com 担当：大島，渡辺

①お名前、②お住まい（行政区）、③ご希望の企画（通常総会・総会記念シンポジウム）、④お弁当（有料 700 円）の要・不要、をお知らせください。

期日：5 月 22 日（水）

シンポジウムの詳細は次頁をご覧ください

総会記念シンポジウム

テーマ「新しい生協像への視座」

－新著「協同による社会デザイン」が問いかけるもの－

地域生協が設立・発展してきた経済社会の環境は、長期の低成長へと変化し、人口減少社会を迎えています。一方、国は労働人口が減少する 2040 年を視野に生産性向上を掲げ、働き方改革に着手しています。

I C A（国際協同組合同盟）や日本生協連、また各生協でも 2030 年ビジョンの検討を始めています。その中では、地域社会の持続可能性と一体なものとして、「（生活）協同組合の事業の持続可能性とは」「働き方改革をどう進めるのか」「生協事業の効率性とは」を深めることが不可欠になっています。

地域と協同の研究センター・「生協の（未来の）あり方研究会」では、新著「協同による社会デザイン」（4月25日発刊）の準備をとおり、これからの社会における生協の役割を探ってきました。総会記念シンポジウムでは、「協同による社会デザイン」は現代社会と時代の変容をどのようにとらえているか、新しい生協像（事業や活動のあり方）にどのような問題提起をしているのか、東海の生協の今をどのように考えているのか、執筆者からの報告をうけて話し合います。

当日は新著「協同による社会デザイン」および

前著「未来を拓く協同の社会システム（2013年発刊）」を会場にて販売します。

日時 5月25日（土）13：15～15：30（参加費・無料）

会場 コープあいち生協生活文化会館 4階会議室 1

<進行>

シンポジウム・コーディネーター

小木曾洋司氏（中京大学教授）

報告者①「協同による社会デザイン」の問題提起－社会の変容と協同の社会システム

兼子厚之氏（元研究センター理事）

報告者②「他者志向的事業体」として生協を見直す

向井清史氏（名古屋市立大学大学院特任教授）

報告者③「地域福祉型生協の展開と可能性

朝倉美江氏（金城学院大学教授）

報告者④「東海における生協の今」

河原洋之氏（コープぎふ参与）

磯村隆樹氏（東海コープ事業連合常務理事）

意見交換 「生協の新しい視座」とは

シンポジウムのまとめにかえて

近藤充代氏（日本福祉大学教授）

シンポジウム・コーディネーター、報告者は「生協の（未来の）あり方研究会」メンバーです

一般の方も参加可能です。お知り合いとお誘いあわせのうえ、ご参加ください。